

○「九条の会」とは2004年6月、井上ひさしや大江健三郎、澤地久枝ら9人の呼びかけで、平和のために「憲法9条を守る」という一点で生まれた市民の会です。今や全国に7,500、福島県内でも100以上の会が、超党派で、独自の自由な平和のための活動をしています。

＜新成人への配布号＞

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 157

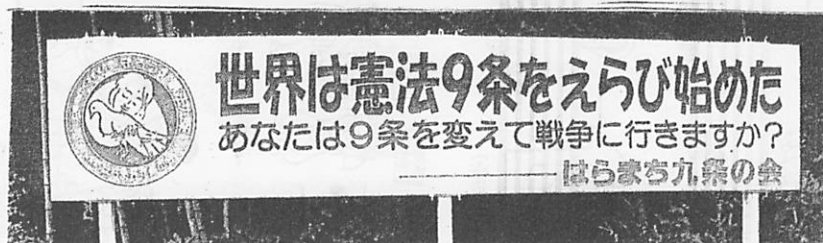
2011(平成23)年 1月 9日(日)発行



成人 おめでとうございます！ この機会に『憲法』をどうぞ！

○成人を迎えられたみなさん、私たちの生活を守ってくれている「憲法」を読んでみましょう。○特に「憲法第9条(戦争の放棄・戦力及び交戦権の否認)」はこれから人類の在り方として高い評価を得て、国際平和のお手本になっています。○武力で平和は守れません。もう短絡的に戦争を考える時代ではありません。作家の故井上ひさし氏は「心をつくして話し合い／そして力を合わせるなら／かならず戦(いくさ)はいらなくなる」と語っていました。

▲今日皆さんにプレゼントされた「憲法」小冊子は、40年前の1971(昭和46)年、旧原町市が公費で発行し、当時の原町市の全家庭12,000戸に配布したものの複製版です。



◀ 2008年8月15日の終戦記念日に、原町区錦町の県道沿い、ココスさんの向かい側に建てられた“憲法第9条を守ろう”の看板。多くの市民からのワンコインカンパで建てられました。

皆さんの時代も平和でありますように！ 戦争と平和のことば

◆「戦争は絶対にいやです。今、日本は世界有数の軍事費を使い、戦争への道を進もうとしています。武器ではなく、憲法9条こそが、私たちを守ってくれます。」吉永小百合

◆「この9条のおかげで、日本は戦争で誰ひとり殺しもしなかったし、殺されもしなかったのです。人の命よりも大事な国家などないのです。」……ピーコ

◆「いまでは信じられないことですが、昭和20年の日本人男性の平均寿命は23.9歳でした。戦地では兵士が、内地では空襲で焼かれ、病気になれば薬がない、幼児は栄養失調で死んで、大勢が若死にしたのです。女性の平均寿命も37.5歳だったはずですが、ところが、あの8月15日を境になにもかも変わった。憲法で日本は二度と武器では戦わない、と。」……井上ひさし



◆「母(海老名香葉子)は戦災孤児です。東京大空襲でたった一人の兄以外、家族はみんな亡くなりました。遺骨が見つからず、お墓もない。落語で笑っていただきながら、母からの平和のバトンをつないでいくのが私の立場です。」林家正蔵

◆「憲法9条は子どもたちに残してやれる最大の財産です。平和と平等は根っここのところにつながっています。それは他人に対する愛情です。」森永卓郎

◆「戦争放棄をうたった日本国憲法は世界に誇れるものです。」ビートたけし

◆「あなたの剣を、もとの所におさめなさい。剣をとる者はみな、剣で滅びる。」『聖書』



○私たちの「はらまち九条の会」は原町区の市民を中心に5年前に結成され、会員は現在416名。なんの拘束もなく、自由に匿名でも入会できます。年会費千円。事務局までご連絡下さい。会長平田慶肇、事務局石田賢二・早坂吉彦・井上由美・番場恵子・連絡先山崎健一(TEL0244-22-8631)。

○「はらまち九条の会」ホームページ <http://www.haramachi9jo.net> 会報の全号も見ることができます。

＜「はらまち九条の会」発足5周年記念＞

■主催：はらまち九条の会

【入場：無料】

「漫画展 中国からの引き揚げ～少年たちの記憶」＜著名な漫画家による「戦争体験の絵」展示会＞

・1月28日(金)・29日(土)・30日(日) 午前9時～午後6時(30日は3時まで)

・原/町駅前 原町中央図書館・大会議室

成人式もお祭りも、スポーツ大会も旅行だってできるのも、
現在の「憲法」が静かに私たちを支えてくれているからです

